

キャベツ

1 作型

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
作 型	夏どり(中間地)											
	夏どり(高冷地)											
	秋どり(高冷地)											
	秋冬どり(平坦地・中間地)											

: 播種

: 定植期

: 収穫期

アピールポイント

- ・出荷時期: 6月中旬～1月上旬。
- ・標高差を利用し、4月下旬から10月いっぱいまで長期出荷が可能です。
- ・一部の産地では、大手飲食店との契約栽培に取り組んでいます。



2 各作型のポイント

(1) 夏どり栽培(中間地・高冷地)

盛夏期は病害が多発するので、病害抵抗性(萎黄病)や耐病性(黒腐病、軟腐病等)を考慮して品種を選びます。

順次播種を行うことで、長期間連続して収穫することができます。

健全な苗の育成と病害の発生を減らすため、雨よけハウスで育苗します。

(2) 秋どり栽培(高冷地)

生育後期に気温が下がるので、低温肥大性の良い品種を選びます。

育苗期や定植期が生育適温となる寒冷地での作型です。

(3) 各作型共通

肥料の他に牛糞堆肥を2t/10aを基準として施用します。

連作するとネコブ病や黒腐病が増えるので、連作を避け、スイートコーン等のイネ科植物との輪作を行います。また酸性土壌では病害が発生しやすいため、石灰質資材を用いて酸度矯正を行います。

無菌土を用いて播種箱で本葉1枚くらいまで育苗してから連結ポットに鉢上げします。大苗は植え傷みを起こしやすいため本葉が5～6枚の若苗定植とします。

定植2～3週間後に追肥を施用し、このときに雑草防除を兼ねた中耕・土寄せを行います。

コナガの防除が必要です。薬剤抵抗性が発達しやすいので、BT剤、IGR剤を中心に、異なる系統の薬剤を用いてローテーションで防除を行います。

播種後約120～150日で収穫適期となりますが、品種や作型によって収穫の適期や幅(期間)が大きく異なります。降雨による裂球が発生しやすいため適期収穫に心がけます。硬く結球してきたものから順次収穫し、適期幅が短い品種は取り遅れて裂球しないよう注意します。

